

学力向上に効果のある取組事例

国東市立国東小学校

⑪ 小学校教科担任制

取組の具体①

○ 児童の興味・関心を高める教材研究・指導法の工夫

- ・指導者の専門性が発揮され、自分の担当教科の研究を深めることができている。対話的で深い学びによる学習展開が仕組め、児童の思考力・判断力・表現力の育成に繋がっている。
- ・児童が「やってみたい」「考えてみたい」と意欲がわくような授業展開を工夫し、主体的に学習に取り組める全員参加授業づくりをめざしている。
- ・ICT機器に堪能な指導者が、どの学級にも授業に関われ、児童だけでなく教職員のスキルアップにも繋がっている。



これまでの認識と事実のズレから課題をつくる。
～9/9 5年生「社会科」～

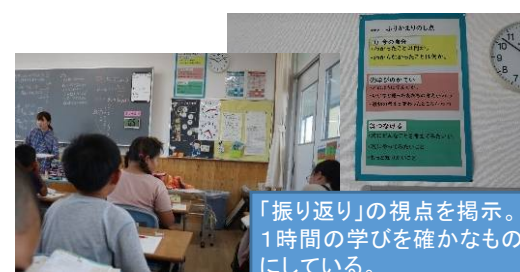


タブレットを活用し、みんなの考えをさぐり、自分の考えを深める。～8/28 5年生「社会科」～

取組の具体②

○ 校内研修と関連させた授業改善

- ・思考力・判断力・表現力の育成をめざし、「学びの自覚化を図る振り返りの充実」を研究テーマに全員参加の授業づくりの授業改善を行っている。振り返りの視点を明確にし、書いて伝え合うことを大切にしている。
※「振り返りの視点」には、①今の自分②学びの過程③つなげるについて、それぞれの視点を明示している。
- ・課題を引き受ける段階での手立てを大切にし、どの児童も考えがもてるような工夫をしている。お互いの考えを交流し合い、一人ひとりの考えが生かせる全員参加の授業をめざしている。



「振り返り」の視点を掲示。1時間の学びを確かなものになっている。



自由に席を離れての意見交流。対話的で深い学びへ。
～9/9 4年生「算数」～

取組の具体③

○ 学年部会をもち、複数の教師で児童に関わる体制づくり

- 複数の教師で多角的・多面的に児童の様子を観察・指導するように努めている。学年部で情報共有をし、指導の共通化を図っている。問題が起きた場合は複数で対応するようにしている。



定例の学年部会。子どもたちの様子を出し合い、指導の共通化を図っている。